



昭和56年

款

A

項

9

目

2

節

件

名

本会議録綴

2

冊の

1

号

昭和

永

年

ま

で

保

存

登録番号

11月

～5月

号

議会

課

(保存文書背表紙)

甲

局長 佐藤 信良
局長 佐藤 信良

開 会
閉 会



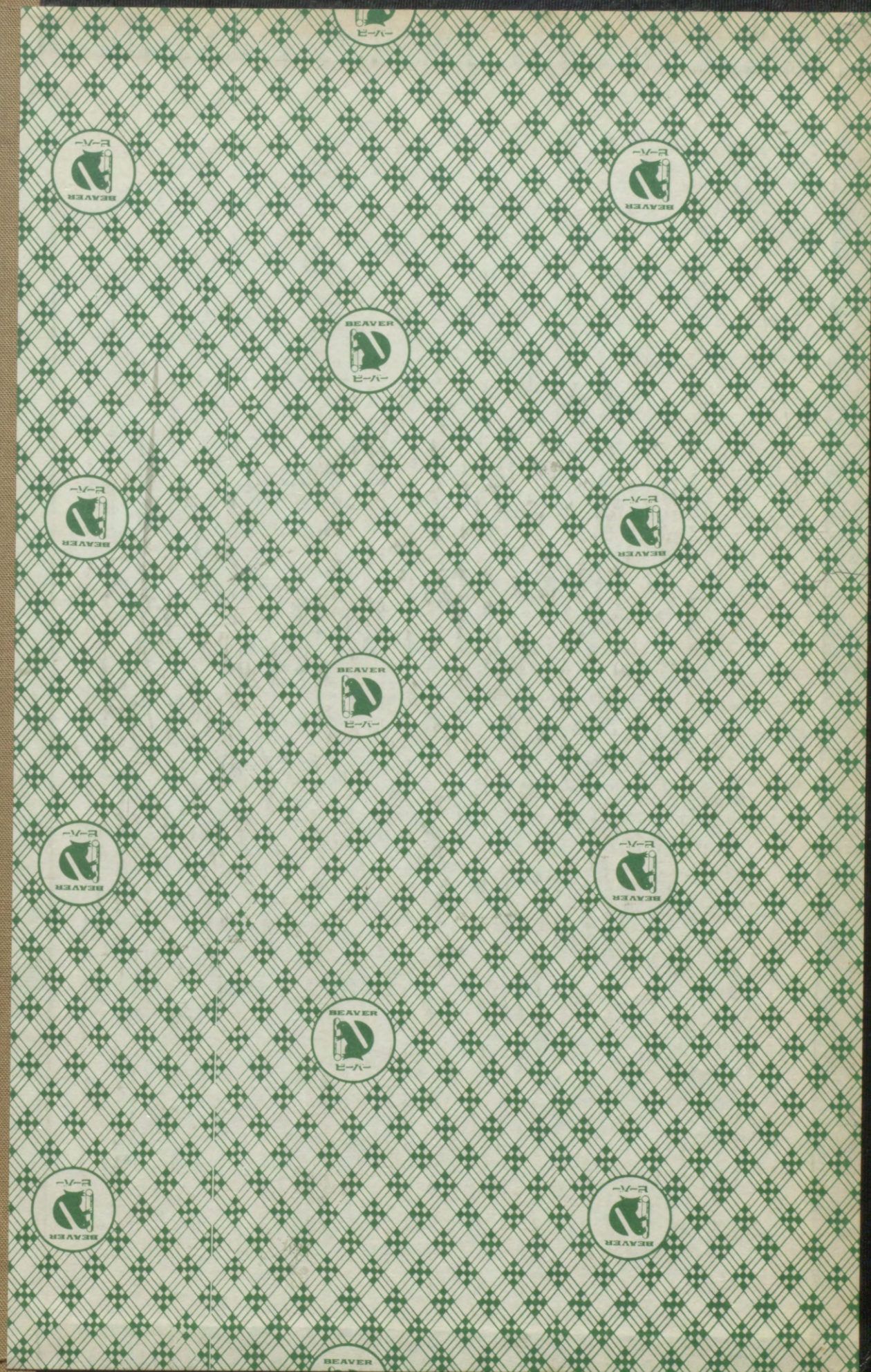
昭和五十六年一月二十七日

同 日

昭和五十六年

福生市議会第一回臨時会会議録

福生市議会



第一臨

目次

議一

議二

議三

議四

議五

議六

開會・閉會・議・録・目・次

○一月二十七日(火) (第一号)

出欠席議員	一
出席説明員	三
議事日程	四
開会・開議	五
日程第一	五
會議録署名議員の指名	五
日野義五郎	五
二十二番 小堺五七君	五
二十四番 塩野鉄之助君	五
日野義四郎	五
二十番 石川五郎君	五
諸報告	五
日程第二	六
会期の決定(議會運営委員長報告)	六

日程第三	議案第一号	昭和五十五年度福生市一般会計補正予算(第六号)	原案可決	八
日程第四	議案第二号	昭和五十五年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第三号)	原案可決	一八
日程第五	議案第三号	昭和五十五年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理事業会計補正予算(第三号)	原案可決	二〇
日程第六	議案第四号	昭和五十五年度福生市下水道事業会計補正予算(第五号)	原案可決	二二
日程第七	議案第五号	福生市立福生第一小学校講堂防音増改築建築工	原案同意	二四
日程第八	議案第六号	福生市収入役の選任について	原案同意	二八
閉議・閉会				三一

第一回福生市議会 臨時 会会議録(第一号)

昭和五十六年一月二十七日福生市議会議場に第一回福生市議会臨時会が招集された。
出席議員は次のとおりである。

一番	石川慶一郎君	二番	仲村清信君
三番	加藤謹之助君	四番	高水惣八君
五番	東浦春浪君	六番	村尾栄次君
七番	木村田治男君	八番	山崎敏三郎君
九番	小野沢久君	十番	遠藤洋一君
十一番	原敏子君	十二番	松山清君
十三番	小林南三君	十四番	村野武男君
十五番	鈴木藤次郎君	十六番	貫井喜代次君
十七番	田村市郎君	十八番	東田正治君

十九番	宮沢良一君	二十番	指田保雄君
二十一番	君	二十二番	小堀仁七君
二十三番	君	二十四番	塩野鉄之助君

一 欠席議員は次のとおりである。

二十一番 末次性男君
二十三番 関米吉君

一 欠員は次のとおりである。

なし

一 議会事務局職員は次のとおりである。

議事 市川昭利君 主事 小沢幸恵君
議事 係長 市川昭利君
議事 係長 市川昭利君

一 出席説明員は次のとおりである。

市長 田村匡雄君	市助 古谷徳男君
収入役 橋本孝蔵君	三教 育長 森田猛君
企画財政部長 生子国利君	総務部長 浅見裕康君
市民部長 井上久男君	福祉部長 田村忠雄君
建設部長 内田和雄君	教育次長 八木房雄君
監査委員事務局長事務取扱 高水求君	選挙管理委員会事務局長 篠崎寛君

一 本日の議事日程は次のとおりである。

昭和五十六年第一回福生市議会臨時会議事日程

開議日時 一月二十七日(火) 午前十時

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 議案第一号 昭和五十五年度福生市一般会計補正予算(第六号)

日程第四 議案第二号 昭和五十五年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

日程第五 議案第三号 昭和五十五年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理事業

会計補正予算(第三号)

日程第六 議案第四号 昭和五十五年度福生市下水道事業会計補正予算(第五号)

日程第七 議案第五号 福生市立福生第一小学校講堂防音増改築建築工事請負契約

日程第八 議案第六号 福生市収入役の選任について

午前十時二分 開会・開議

○議長(小林菊三君) ただいまから昭和五十六年第一回福生市議会臨時会を開会いたします。

これより今日の会議を開きます。
これより日程に入ります。

○議長(小林菊三君) 日程第一会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員の指名は、会議規則第百三十二条の規定により、議長において

二十番 小堺仁七君

二十四番 塩野鉄之助君

一番 石川慶一郎君

以上三名を指名いたします。

○議長(小林菊三君) この際 報告事項がありますので、事務局長をして

諸般の報告をいたさせます。

(本林田議会事務局局長報告)

一 昭和五十六年第一回福生市議会臨時会の招集について(別添参照)

二 議案の送付について(別添参照)

三 市議会議事説明員の委任について(別添参照)

四 議案説明員の出席要求について(別添参照)

五 昭和五十五年十一月分例月出納検査の結果について(別添参照)

○議長(小林菊三君) 以上で報告は終わりました。

○議長(小林菊三君) 日程第二会期の決定を議題といたします。

今次臨時会の会期については、議会運営委員会において検討されておりますので、委員長から報告を願います。

(議会運営委員長 貫井喜代次君 登壇)

○議会運営委員長(貫井喜代次君) 御指名でございます。去る二十一日に開催いたしました議会運営委員会の結果について御報告申し上げます。

今次臨時会に提案される議案は、補正予算を含む六議案であり、日程の順序については慣例に従うこととし、予算から順次御審議願うことといたしました。また、議案のうち予算は、いずれも職員の期末手当に対する補正と、補助事業に伴う繰越明許費の計上がその内容であり、なお、同意議案も急施を要することから、慎重に御審議の上、即決を願うこととし、会期については本日一日といたしました。

さらに理事者より全員協議会開催の申し入れがありますので、本会議終了後開催することといたしました。

以上でございますが、本日の議事運営が円滑に進行いたしますようお願い申し上げます。

○議長(小林菊三君) 以上で委員長の報告は終わりました。

お諮りいたします。

会期につきましては、ただいま委員長から報告されたとおり、一月二十七日の一日限りと決定したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小林菊三君) 御異議なしと認めます。 よって会期は一日限りと決定いたしました。

○議長(小林菊三君) 日程第三議案第一号昭和五十五年度福生市一般会計補正予算(第六号)を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

(企画財政部長 生子国利君登壇)

○企画財政部長(生子国利君) 議案第一号 昭和五十五年度福生市一般会計補正予算第六号について、提案理由とその内容について御説明申し上げます。

まず本補正予算の大綱を申し上げてみますと、今回の補正予算は人件費を主として、一部繰越明許費の補正とが主なる今回の補正でございます。

まず人件費につきましては、十二月定例議会におきまして御議決をいただきました期末手当の支給割合の決定に伴いまして、十二月期に予定さ

れておりました期末勤勉手当の予算計上分は二五ヵ月分でありましたが、議決決定により支給されました支給割合は三二ヵ月分と相なりましたので、不足分の〇六ヵ月分の五千五百八十四万六千円を、今回補正しようとするものでございます。

また、繰越明許費補正につきましては、西住宅地区周辺排水路整備事業の本年度計画事業であります。人孔築造工事及び設計委託につき、繰越事業としようとするものでありまして、まず、人孔築造工事につきましても、御承知のとおり福生ハム工場前の十字路に設置するものであります。現在施工中の福生ハム工場前から起点といたしまして、中福生駐在所に至る管渠工事が、工期以前に終わり、十分人孔築造工事も完了する予定でありましたが、管渠工事におきまして、栄通りの流域下水道の上越工事及び異常出水のために、これらの処置を施すためにも予定の行程に変更が生じ、そのため工事終了は三月中旬となるため、人孔築造工事は、年度内完了はこうてい困難となった次第であります。

また、設計委託につきましては、国道以降瑞穂、羽村町の計画地域までの実施設計であります。が、路線の地質調査のデータ及び国道横断しております村山貯水池への導水管の、都水道局との折衝等の関係から、年度内設計も困難であると判断され、上級官庁との協議の結果、繰越事業によって実施することに合意されましたので、ここに繰越明許を行おうとするものであります。

以上が本補正六号の大綱でございます。順を追って御説明申し上げます。と、まず一ページの五十五年度の補正の概要につきましては、一条におきましては、歳入歳出の補正は別紙、二条におきまして繰越明許費の補正につきましては、ただいま申し上げましたような理由によって繰り越しを行うと、数字は後ほど御説明申し上げます。

次に二ページをお開きいただき、たいと思います。

人件費が主でございます。先ほど申し上げましたとおりの予算でございますが、すべて歳入はなく、歳出も予備費をもって充当した予算でございます。

したがしまして順次御説明を申し上げます。議会費につきましては百三十一万八千円、八人分の補正額でございます。それから総務費につきましては二千百十八万二千円を補正しようとするものであります。百三十五人分の補正で、十一億九千七百八千円が合計になります。民生費につきましては、七百六十四万九千円補正いたしまして、五十二名分の不足分でございます。衛生費におきましては二百九十三万七千円、二十名分の人件費の補正、労働費につきましては十五万四千円、これは一名分の補正でございます。農林水産業費につきましては六十六万八千円、四人分でございます。商工費につきましては三十九万四千円、三人分、次のページの三ページでございますが、土木費につきましては四百六十五万七千円、三十人分の人件費の補正でございます。教育費におきましては一千六百八十八万七千円を補正いたしまして、百十五名分の人件費の補正、以上合計で三百六十八人分の五千五百八十四万六千円を補正しようというものであります。予備費を充当いたしております。したがしまして総予算額につきましては、九十五億三百六十九万二千円、総額につきましては内容操作でございます。変更はございません。